

ぜんこくざいたくしょうがいじ しやじったいちようさ かしょう しこうちようさ
全国在宅障害児・者実態調査（仮称）試行調査
じっしりようりよう あん
実施要領（案）

ちようさ もくてき
1. 調査の目的

へいせい ねん ど じっし ぜんこくざいたくしょうがいじ しやじったいちようさ かしょう しんらいど
平成23年度に実施する全国在宅障害児・者実態調査（仮称）において信頼度
たか ちようさ けつ か え ちようさ ほうほうおよ ちようさ ころもくとう ゆうこうせい けんしょう おこな
の高い調査結果を得るため、調査方法及び調査項目等の有効性の検証を行う
もくてき
ことを目的とする。

ほん しこうちようさ けつ か そうごうふくし ぶ かい ぎろん さんこう
なお、本試行調査の結果については、総合福祉部会における議論の参考とする
どう ぶ かい ていきよう
ため、同部会に提供するものとする。

ちようさ ほうほう
2. 調査の方法

ちようさ ほうほう
調査方法

ゆうそう はいふ かいしゆう
郵送による配布、回収

ちようさ たいしやう きじつ
調査対象期日

へいせい ねん がつ にちげんざい
平成22年11月1日現在（P）

ちようさ きかん
調査期間

へいせい ねん がつちゆうじゆん がつちゆうじゆん よてい
平成22年11月中旬から12月中旬（予定）

ひようほんすうおよ ひようほんちゆうしゆつほうほう けんとう しよう
※ 標本数及び標本抽出方法について検討を要する。

ちようさ じっし しゆたい
3. 調査の実施主体

こうせいろうどう か がくけんきゆう しょうがいしゃ せいかつじったいおよ とう はあく ちようさしゆ
厚生労働科学研究「障害者の生活実態及びニーズ等を把握するための調査手
ほう かいはつ かん けんきゆう けんきゆうはん しゆにんけんきゆうしや ひらの まさあきにほんしやかいじぎやうだいがくじゆん
法の開発に関する研究」研究班（主任研究者：平野方紹日本社会事業大学准
きやうじゆ
教授）

ちようさ ころもく
4. 調査項目

べつと しこうちようさ かが ちようさ ひよう あん さくせい
別途、試行調査に係る「調査票（案）」を作成する。